

新規事業採択時評価結果（令和2年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：奥村 康博

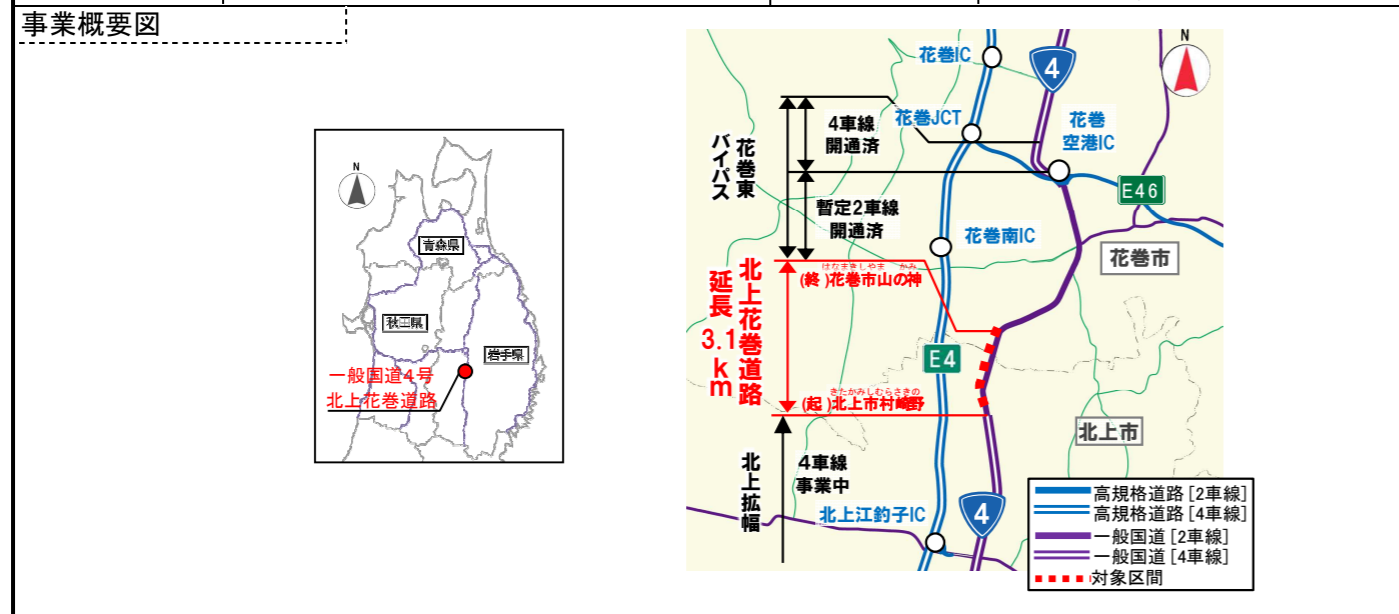
事業の概要

事業名	一般国道4号 北上花巻道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：岩手県北上市村崎野 至：岩手県花巻市山の神	延長	3.1 km		

事業概要
一般国道4号は、東京都中央区を基点とし青森県青森市に至る一般国道で、一関市、奥州市、北上市、花巻市、盛岡市、二戸市等を経由して岩手県内を南北に縦貫する道路である。このうち北上花巻道路は北上市と花巻市を連絡する延長3.1 kmの4車線化拡幅事業である。

事業の目的、必要性
対象区間整備により交通容量が確保され、幹線道路としての速達性向上と交通安全性が向上するとともに、交通混雑が解消されることにより、物流効率化が図られ地域経済活動の支援に寄与することを目的とする。

全体事業費	約70億円	計画交通量	約25,700台/日
-------	-------	-------	------------



関係する地方公共団体等の意見
【岩手県知事】
「一般国道4号北上花巻道路」を予算化することについて同意します。
北上市村崎野から花巻市山の神間の国道4号は、前後が4車線やバイパスとして整備された区間に挟まれた2車線道路であり、増大する交通に対するボトルネック区間となっていることから、朝夕の渋滞に加え、緊急車両の走行に支障をきたしているところです。
こうしたことから、国においては、令和元年度に北上市村崎野地区と花巻市山の神地区の2箇所の交差点改良を事業化していただいたところですが、当該区間全体の4車線拡幅による円滑な交通の確保が不可欠なことから、北上花巻道路について、令和2年度に事業化するようお願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見
・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件
■費用対便益：便益が費用を上回っている。
■手続きの完了：計画段階評価手続き完了（R1.6.14）、都市計画決定手続き完了（R2.2.28）

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.5	総費用：64億円 （事業費：54億円 維持管理費：9.3億円）	総便益：9.9億円 （走行時間短縮便益：9.3億円 走行経費減少便益：5.1億円 交通事故減少便益：0.88億円）	基準年：令和元年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.2	（交通量 -10%）	B/C=1.8	（交通量 +10%）
		事業費変動	B/C=1.4	（事業費変動 +10%）	B/C=1.7	（事業費変動 -10%）
		事業期間変動	B/C=1.4	（事業期間変動+2年）	B/C=1.7	（事業期間変動-2年）
事業の影響	評価項目		評価	根拠		
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> 交通容量が確保され、速達性が向上。 【混雑度】 現況：1.40 ⇒ 整備後：0.55 【旅行速度】 現況：21.3km/h ⇒ 整備後：49.0km/h（約27.7km/h向上） 		
		事故対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> 交通混雑の解消により、交通事故が減少。 【事故危険区間】 現況：1箇所 ⇒ 整備後：0箇所 【交通事故件数】 現況：40件/4年 ⇒ 整備後：16件/4年（約6割減少） 		
		歩行空間	○	<ul style="list-style-type: none"> 通学路として利用されている周辺の生活道路に物流車両が流入しており、当該区間の整備により適切な機能分担が図られ、沿線住民や通学児童の安全・安心に寄与する。 		
	社会全体への影響	住民生活	◎	<ul style="list-style-type: none"> 対象区間の混雑が緩和されることにより、増加傾向にある花巻市～北上市間の通勤・通学の速達性が向上。 花巻市から北上市の県立中央病院への輸送時間が短縮。 【速達性（花巻東BP南口交差点→県立中部病院）】 現況：11分 ⇒ 整備後：6分（約5割短縮） 		
		地域経済	◎	<ul style="list-style-type: none"> 沿線地域では世界有数の半導体企業が進出するなど新設企業も増加しており、物流効率化による地域経済活動を支援。 【速達性（花巻東BP南口交差点 ⇒ 北上工業団地入口交差点）】 現況：9分 ⇒ 整備後：4分（約6割短縮） 		
		災害	○	<ul style="list-style-type: none"> 代替路としての機能が強化されることで、東北自動車道が通行止めになった場合においても、地域経済活動及び住民生活への影響を最小限にとどめることが期待される。 		
環境		-	<ul style="list-style-type: none"> 注目すべき影響はない。 			
	地域社会	◎	<ul style="list-style-type: none"> 混雑の緩和により速達性が向上し、花巻市～北上市間の拠点的な都市を結ぶ道路としての機能を確保。 【速達性（花巻市役所→北上市役所）】 現況：26分 ⇒ 整備後：21分（約2割短縮） 			
事業実施環境		○	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画決定手続き完了（R2.2.28） 岩手県知事、花巻市長、北上市長、国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会等により、北上花巻道路の早期事業化を要望。 			

採択の理由

費用便益比が1.5と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、北上花巻道路の整備により、交通容量を確保し、幹線道路としての速達性向上と交通安全性が向上し、物流効率化による地域経済活動を支援するなど、当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。